【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【公表番号】特表2013-507833(P2013-507833A)
【公表日】平成25年3月4日(2013.3.4)
【年通号数】公開・登録公報2013-011
【出願番号】特願2012-533293(P2012-533293)
【国際特許分類】
*Ｈ０４Ｌ　12/44　(2006.01)*
*Ｇ０６Ｆ　13/00　(2006.01)*
*Ｈ０４Ｗ　84/10　(2009.01)*
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　12/44
Ｇ０６Ｆ　13/00　３５３Ｃ
Ｈ０４Ｑ　7/00　６２８

【手続補正書】
【提出日】平成25年8月20日(2013.8.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンピューターネットワーク環境において、
サーバーの第１のラックに結合された１つのフライウェイ機構を含む、互いに通信するように動的にプロビジョニングされるフライウェイ機構の組を備え、前記フライウェイ機構は、オーバーサブスクライブされたベースネットワークに追加のネットワーク通信容量を提供するためにサーバーの第２のラックに結合される別のフライウェイ機構と通信するように構成される、システム。
【請求項２】
追加のネットワーク通信容量の必要性を検出するように構成されるコントローラーをさらに備え、前記フライウェイ機構が、前記コントローラーによって互いに通信するために動的にプロビジョニングされる請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記オーバーサブスクライブされたベースネットワークはツリー状のトポロジーで構成される請求項１に記載のシステム。
【請求項４】
前記オーバーサブスクライブされたベースネットワークはメッシュトポロジーで構成される請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
前記フライウェイ機構は、前記ネットワークの物理的なレイアウトに少なくとも部分的に基づく請求項１に記載のシステム。
【請求項６】
前記フライウェイ機構が物理的なワイヤを介して他のフライウェイ機構と通信する請求項１に記載のシステム。
【請求項７】
前記フライウェイ機構が無線技術を介して他のフライウェイ機構と通信する請求項１に

記載のシステム。
【請求項８】
前記無線技術は、６０ＧＨｚ周波数帯技術を含む請求項７に記載のシステム。
【請求項９】
前記無線技術は光リンクを含む請求項７に記載のシステム。
【請求項１０】
前記無線技術は８０２．１１ベースのＷｉ－Ｆｉ技術を含む請求項７に記載のシステム。
【請求項１１】
前記フライウェイ機構及び少なくとも１つの他のフライウェイ機構によって確立される１つ又は複数のフライウェイ機構を用いてネットワークパスが構築される請求項１に記載のシステム。
【請求項１２】
コンピューターによる実行に応答して、前記コンピューターに、
ネットワークトラフィックを決定するステップと、
前記ネットワークトラフィックに基づいて、ネットワーク内のマシン間の通信リンクを動的にプロビジョニングして、それらのマシン間で前記ネットワークトラフィックを少なくともある程度運ぶステップと
を実行させる、コンピューター実行可能な命令を有する、１つ又は複数のコンピューター記憶媒体。
【請求項１３】
通信リンクを切断するステップを含むコンピューター実行可能命令をさらに有する請求項１２に記載の１つ又は複数のコンピューター記憶媒体。
【請求項１４】
マルチホップ通信のための少なくとも１つの媒介マシンを使用することを含む、マシン間の別の通信リンクをプロビジョニングするステップを含む、コンピューター実行可能命令をさらに有する請求項１２に記載の１つ又は複数のコンピューター記憶媒体。
【請求項１５】
前記ネットワークトラフィックを決定するステップは、サーバーマシンと通信するステップもしくはスイッチをポーリングするステップを含むか、又はサーバーマシンと通信するステップ及びスイッチをポーリングするステップの両方を含む請求項１４に記載の１つ又は複数のコンピューター記憶媒体。
【請求項１６】
前記通信リンクをプロビジョニングするステップは、その間で前記通信リンクがプロビジョニングされるマシンを選択する配置アルゴリズムを実行するステップを含む請求項１４に記載の1つ又は複数のコンピューター記憶媒体。
【請求項１７】
コンピューティング環境において、少なくとも１つのプロセッサー上で実行される方法であって、
ネットワークマシンのペア間のネットワークトラフィックを決定するステップと、
前記ネットワークトラフィックに基づいて、選択されたマシンのペアを選択するステップであって、前記選択されたマシンのペアは、その選択されたマシンのペアの間でプロビジョニングされたフライウェイをまだ有していない、ステップと、
その選択されたマシンのペアの間でフライウェイを動的にプロビジョニングするステップと
を含む方法。
【請求項１８】
マシンの別のペアの間でフライウェイを切断するステップをさらに含む請求項１７に記載の方法。
【請求項１９】

選択されたマシンのペアを選択する前記ステップは、最適なルーティングを計算するために配置アルゴリズムを実行するステップを含む請求項１７に記載の方法。

【請求項２０】

単一のフライウェイを介して通信することができない２つのマシン間でマルチホップネットワーク通信を可能にするために、少なくとも２つのフライウェイをプロビジョニングするステップをさらに含む請求項１７に記載の方法。